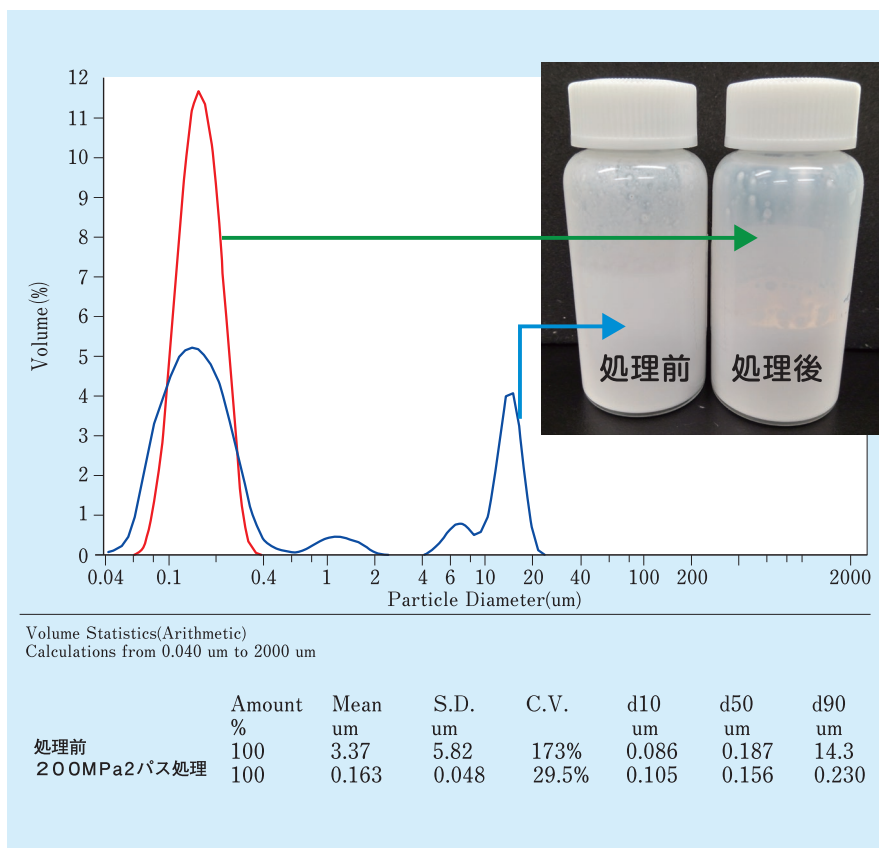


# アルミナ材料のナノヴェイタ™分散による 遮熱性UP

電子部品等の遮熱、放熱材料として無機材料が多く使われている。  
 最近では部品の小型化に伴い材料の遮熱、放熱性UPが必要となり微分散(高分散)の検討により材料の機能UP検討がされてきている。



スプーンに液を入れ乾燥

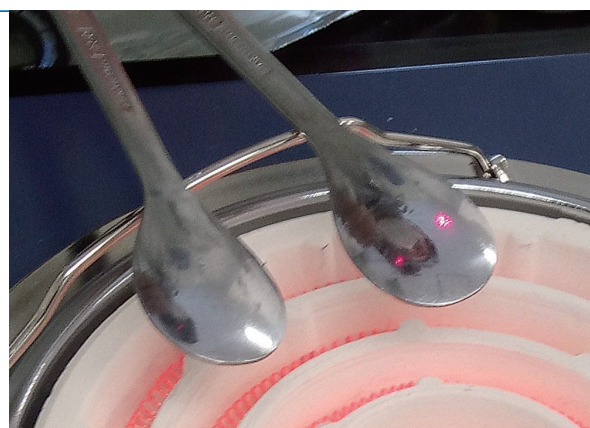
## 処理内容

- ・材料：アルミナ
- ・濃度：30wt%
- ・溶媒：イオン交換水
- ・装置：NVC-ES008-D10
- ・処理：クロス型ノズル  
200MPa 2パス

## スプーンのセラミックス面を電熱線にて加熱

### 加熱時測定データ

	温度(時間)		
	20秒	90秒	180秒
処理前	エラー	エラー	エラー
処理後	45℃	45℃	45℃



※処理前(混合処理)の試料は加熱開始後20秒で測定エラー(測定限界オーバー)、に対しナノヴェイタ™処理後の試料は3分経っても45℃で安定。